

## 『御言葉に養われる経験～教会学校月間に際して』 吉田真司

9月に入りました。今月は教会学校月間です。教会学校の意義を覚え、その働きの充実のために共に加わりましょう。当教会の五つの目標の一つに「学ぶ教会」があります。「私たちは学ぶ教会を目指します～御言葉を学び続けることで、キリストの弟子として整えられ、福音にふさわしい生活を確立していくためです」と。この目標は、主イエス・キリストの大宣教命令に立脚しています。イエス様は命じられました。「あなたがたは行って、全ての民をわたしの弟子にしてください。彼らに父と子と聖霊の名によってバプテスマを授け、あなたがたに命じておいたことをすべて守るように教えなさい」(マタイ 28:19-20) と。

本年度の当教会の標語は「キリストに結ばれて、共に歩むわたしたち」です。5月の定期総会資料「2024年度をむかえて」に私はこう記しました。「標語の『キリストに結ばれて』とはまさに『縦のつながり』を意味し、・・・教会はキリストの体であり、一人ひとはキリストの幹につながる枝です。日々の御言葉(霊なる言葉)に養われ、その教えをしっかりと受けること、ここに教会の確かさがあります」と。この原稿に向かっていたのは台風10号が日本列島を横断する最中で、各地の大風雨からの護りを祈りつつでした。そして思うのは、人生に時折訪れる大嵐の中で、私たちの魂を支えるのは御言葉ということ。私たち一人ひとりが、そして教会が拠って立つ土台について黙想し、そして次の御言葉(山上の説教の締め括りの言葉)をあらためて心に覚えました。「わたしのこれらの言葉を聞いて行う者は皆、岩の上に自分の家を建てた賢い人に似ている。雨が降り、川があふれ、風が吹いてその家を襲っても、倒れなかった。岩を土台としていたからである」(マタイ 7:24-25)。讃美歌にこうあります。「この世のあらし、吹きすさべど、永久の平和をたえず求む。その幻を主はよろこび、教会の勝利、約したもう」(新生讃美歌 339番 2節) —— 教会の信仰、そして一人ひとりの信仰の基を確かにするべく、共に教会学校に参じて、御言葉による養いを喜び合って参りましょう。

## 教会の定例集会

主日礼拝	日曜日	午前 9:00～10:00 (相模原礼拝)
		午前 10:40～12:00 (会堂礼拝)
教会学校	日曜日	午前 9:30～10:20
		(嬰兒、幼児、小学生、中高生、青年、成人、英語、聖書入門の各クラス)
祈り会	水曜日	午後 7:30～9:00
金曜集会	金曜日	午前 10:30～12:00
家庭集会 (相模原)	第二火曜日	午前 10:00～12:00 (竹村家)
(すずかけ台)	第三木曜日	午後 1:30～3:00 (長谷川家)

## 日本バプテスト相模中央キリスト教会

〒242-0007 大和市中央林間4-24-6 TEL&amp;FAX 046 (274) 3708

牧師: 吉田真司 音楽・子どもユース担当主事: 江原美歌子 協力牧師: 斎藤剛毅

<http://www.sccc.sakura.ne.jp>